

※記載例

届 出 書

寝屋川市長

殿

令和〇年〇月〇日

フリガナ
発注者又は自主施工者の氏名(法人にあつては商号又は名称及び代表者の氏名) ネヤガワ タロウ
(郵便番号 572-XXXX) 電話番号 072-XXX-XXXX
住所 大阪府寝屋川市〇〇町△△-△△
(転居予定先) (郵便番号 572-XXXX) 電話番号 072-XXX-XXXX
住所 大阪府寝屋川市〇〇町△△-△△

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第10条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

1. 工事の概要

- ①工事の名称 〇〇邸解体工事
②工事の場所 寝屋川市〇〇町△△-△△
③工事の種類及び規模
☒ 建築物に係る解体工事 用途 住宅、階数 2、工事対象床面積の合計 120 m²
☐ 建築物に係る新築又は増築の工事 用途____、階数____、工事対象床面積の合計____ m²
☐ 建築物に係る新築工事等であつて新築又は増築の工事に該当しないもの
用途____、階数____、請負代金____ 万円
☐ 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等 請負代金____ 万円
④請負・自主施工の別: ☒ 請負 ☐ 自主施工

2. 元請業者(請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)

- フリガナ
①氏名(法人にあつては商号又は名称及び代表者の氏名) カブシキ会社 マルハツケンセツ ダイヒョウトリシマリヤク カイタイ タロウ
(郵便番号 572-XXXX) 電話番号 072-XXX-XXXX
②住所 大阪市××区〇〇-△△
③許可番号(登録番号)
☒ 建設業の場合
建設業許可 大阪府 ☐ 大臣 ☒ 知事 (般-〇〇) 第 〇〇〇〇〇〇 号 (解体 工事業)
主任技術者(監理技術者)氏名 分別 太郎
☒ 解体工事業の場合
解体工事業登録 大阪府 知事 登解30-〇〇〇〇 号
技術管理者氏名 解体 太郎

(注) 上記については、建設業もしくは解体工事業のどちらかに記入してください。

3. 対象建設工事の元請業者から法第12条第1項の規定による説明を受けた年月日
(請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)令和〇年〇月〇日

4. 分別解体等の計画等

建築物に係る解体工事については別表1
建築物に係る新築工事等については別表2
建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等については別表3により記載すること。

5. 工程の概要

(工事着手予定日)

令和〇年〇月〇日

(工事完了予定日)

令和〇年〇月〇日

別添のとお

(できるだけ図面、表等を利用することとし、記載することができないときは、「別紙のとお」と記載し、別紙を添付すること。)

(注意)

- 1 ☐ 欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。
2 届出書には、対象建設工事に係る建築物等の設計図又は現状を示す明瞭な写真を添付すること。

※受付番号_____

分別解体等の計画等

建築物の構造		☒ 木造 ☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造 ☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ 鉄骨造 ☐ コンクリートブロック造 ☐ その他（ ）		
建築物に関する調査の結果	建築物の状況	築年数 <u>35</u> 年、棟数 <u>1</u> 棟 その他（ ）		
	周辺状況	周辺にある施設 ☒ 住宅 ☐ 商業施設 ☐ 学校 ☐ 病院 ☐ その他（ 敷地境界との最短距離 約 <u>0.5</u> m その他（ ）		
建築物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容	建築物に関する調査の結果		工事着手前に実施する措置の内容	
	作業場所	作業場所 ☐ 十分 ☒ 不十分 その他（ <u>隣地使用の必要</u> ）	建設機械置場所がないため、 隣地使用の承諾済、道路占用許可	
	搬出経路	障害物 ☐ 有（ ） ☒ 無 前面道路の幅員 約 <u>4</u> m 通学路 ☒ 有 ☐ 無 その他（ <u>大型車両通行不可</u> ）	前面道路に交通誘導員配置（作業中） 前面道路狭小の為、2トントラック使用	
	残存物品	☒ 有（ <u>エアコン、テレビ、本棚</u> ） ☐ 無	工事着手前までに発注者にて処分	
	特定建設資材への付着物	☒ 有（ <u>吹き付け石綿</u> ） ☐ 無	付着物に関しては、適正に処理する。	
	他法令関係	石綿（大気汚染防止法・安全衛生法石綿則）	☒ 有（ <u>非飛散性石綿 100㎡</u> ） 特定建設資材への付着（ ☒ 有 ☐ 無 ） ☐ 無	届出対象外
		フロン（フロン排出抑制法）	☒ 有（業務用のエアコン・冷凍冷蔵機器のうちフロン類が使われているもの） ☐ 無	フロン類回収済み
その他				
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法	
	①建築設備・内装材等	建築設備・内装材等の取り外し ☒ 有 ☐ 無	☒ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由（ ）	
	②屋根ふき材	屋根ふき材の取り外し ☒ 有 ☐ 無	☒ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由（ ）	
	③外装材・上部構造部分	外装材・上部構造部分の取り壊し ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用	
	④基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの取り壊し ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用	
	⑤その他（ <u>門、堀</u> ）	その他の取り壊し ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用	
工事の工程の順序		☐ 上の工程における①→②→③→④の順序 ☒ その他（ <u>①→②→③→④→⑤</u> ） その他の場合の理由（ <u>舗装撤去があるため</u> ）		
☒ 内装材に木材が含まれる場合		①の工程における木材の分別に支障となる建設資材の事前の取り外し ☐ 可 ☒ 不可 不可の場合の理由（ <u>建築物の構造上、取り外しができない為</u> ）		
建築物に用いられた建設資材の量の見込み		40 トン		
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み及びその発生が見込まれる建築物の部分	種類	量の見込み	
		☒ コンクリート塊	25 トン	
		☐ アスファルト・コンクリート塊	トン	
		☒ 建設発生木材	10 トン	
発生が見込まれる部分(注)				
(注) ①建築設備・内装材等 ②屋根ふき材 ③外装材・上部構造部分 ④基礎・基礎ぐい ⑤その他				
備考				

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

分別解体等の計画等

建築物の構造		☐ 木造 ☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造 ☒ 鉄筋コンクリート造 ☐ 鉄骨造 ☐ コンクリートブロック造 ☐ その他()		
建築物に関する調査の結果	建築物の状況	築年数 <u>35</u> 年、棟数 <u>1</u> 棟 その他()		
	周辺状況	周辺にある施設 ☒ 住宅 ☐ 商業施設 ☐ 学校 ☐ 病院 ☐ その他() 敷地境界との最短距離 約 <u>0.5</u> m その他()		
建築物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容	建築物に関する調査の結果		工事着手前に実施する措置の内容	
	作業場所	作業場所 ☐ 十分 ☒ 不十分 その他(隣地使用の必要)	建設機械置場所がないため、 隣地使用の承諾済、道路占用許可済	
	搬出経路	障害物 ☐ 有() ☒ 無 前面道路の幅員 約 <u>4</u> m 通学路 ☒ 有 ☐ 無 その他(大型車両通行不可)	前面道路に交通誘導員配置(作業中) 前面道路狭小の為、2トントラック使用	
	残存物品	☒ 有(エアコン、テレビ、本棚) ☐ 無	工事着手前までに発注者にて処分	
	特定建設資材への付着物	☒ 有(吹き付け石綿) ☐ 無	付着物に関しては、適正に処理する。	
	他法令関係	石綿 (大気汚染防止法・安全衛生法石綿則)	☒ 有(石綿含有成形板等 1300㎡) 特定建設資材への付着(☒ 有 ☐ 無) ☐ 無	届出済
		フロン(フロン排出抑制法)	☒ 有(業務用のエアコン・冷凍冷蔵機器のうちフロン類が使われているもの) ☐ 無	フロン類回収済み
	その他			
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法	
	①建築設備・内装材等	建築設備・内装材等の取り外し ☒ 有 ☐ 無	☒ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()	
	②屋根ふき材	屋根ふき材の取り外し ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()	
	③外装材・上部構造部分	外装材・上部構造部分の取り壊し ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用	
	④基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの取り壊し ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用	
	⑤その他()	その他の取り壊し ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
工事の工程の順序		☐ 上の工程における①→②→③→④の順序 ☒ その他(①→③→④) その他の場合の理由(屋根ふき材がない為)		
☒ 内装材に木材が含まれる場合		①の工程における木材の分別に支障となる建設資材の事前の取り外し ☒ 可 ☐ 不可 不可の場合の理由()		
建築物に用いられた建設資材の量の見込み		250 トン		
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み及びその発生が見込まれる建築物の部分	種類	量の見込み	
		☒ コンクリート塊	150 トン	
		☐ アスファルト・コンクリート塊	トン	
		☒ 建設発生木材	80 トン	
(注) ①建築設備・内装材等 ②屋根ふき材 ③外装材・上部構造部分 ④基礎・基礎ぐい ⑤その他				
備考				

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

工 程 表

(建築物解体工事の場合)

作業内容	1 日 目	2 日 目	3 日 目	4 日 目	5 日 目	6 日 目	〇 日 目

(建築物解体工事の場合)

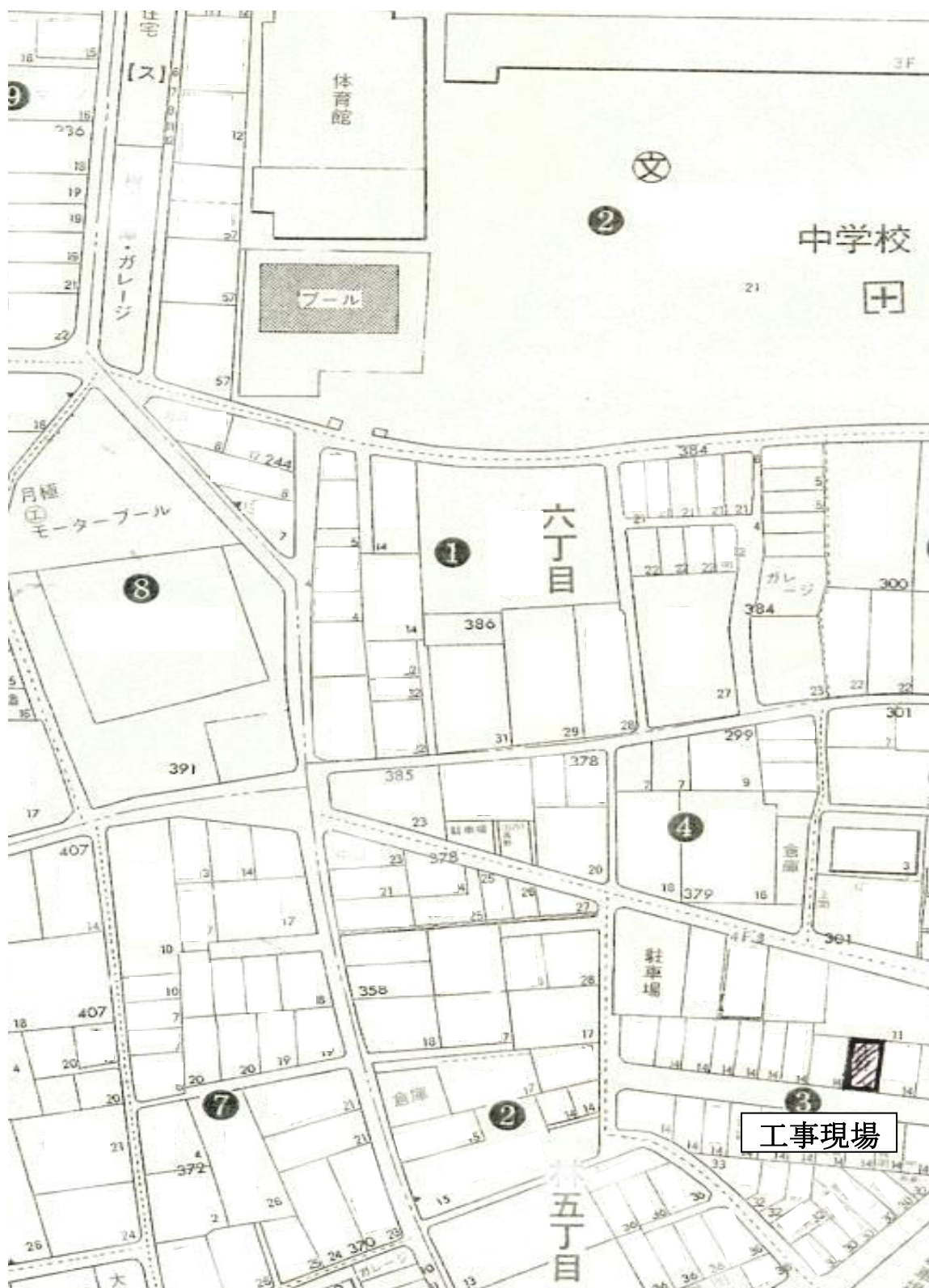
作業内容	1 日 目	2 日 目	3 日 目	4 日 目	5 日 目	6 日 目	9 日 目
①養生シート等の設置							
②重機の搬入							
③障害物の除去							
④建具、畳等の撤去							
⑤石膏ボードの手壊し							
⑥手作業による瓦降ろし							
⑦機械併用の上屋解体							
⑧木材等の積込・搬出							
⑨混廃の積込・搬出							
⑩基礎・土間の解体							
⑪コン塊の積込・搬出							
⑫養生シート等の撤去							
⑬整地・完了							

設計図又は写真



付近見取り図

現場位置図



委 任 状

作成例

私は都合により _____ を代理者と定め、下記の建築物等の工事について、
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第 10 条に基づく届出その他の手続きを委
任します。

記

1. 工 事 の 名 称 _____

2. 工 事 の 場 所 _____

3. 代理者の住所・連絡先

①住 所 _____

②連絡先（昼間の連絡先）

○自宅・勤務先・携帯 電話番号 _____

会社名（勤務先の場合）_____

所属等（勤務先の場合）_____

令和 年 月 日

住 所 _____

氏 名 _____